

特定非営利活動法人イマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



# イマジン通信

Vol.67



## いっしょに歩きましょう

グループホームの入居者を決めました。新しい通所者も決まっています。ヘルパーやショートステイの契約待機者も少しずつですが契約を結ばせていただいています。利用者は拡大するばかりです。しかし、利用の仕方に慣れが出てきています。目的がぶれているケースが多くなっています。制度が変わり、手続きが変わり、担当が変わると“支援のポイントや方法”が不明確になっていきます。良く耳にする言葉に「分からないけど試しにやってみる」というセリフ。しかし、『支援の目的と本質』は変わりません。純粋に“本人の為に、本人らしく生きるための支援”ただこれだけです。当てずっぽうに試しなんてありえません。

ご本人たちは、自身で的確に表現し、他者に伝えることができる方は極めて少ないです。健常者と言われる人も出来る人は極めて少ないと思います。だからこそ他者である我々がご本人に成り代わって“考え”“代弁”しなくてはならないのだと思います。ご本人の本当の“思い”や“気持ち”をくみ取るように“心配り”に努めなくてはならないのだと思います。

多くの支援者は仕事でやっています。業務です。しかし、そこに“ご本人への思い”が無くなったら支援ではなくなると思います。少なくともイマジンの支援ではなくなる。相手が行政でも、例え親御さんであっても、精一杯生きているご本人の味方でありたいと強く感じています。

一歩ずつでいい♪一緒に歩くよ♪今を歩く人を表したくてイマジンとつけた時と同じ気持ちで♪（担当 澤島）



## 将来までの安心を目指して

少し前まで新年のあいさつをしていたのですが、いつの間にか春の気配が感じられるようになってきました。この春でついつい雨やどりが開所して7年が経過し、8年目に突入します。8年目…。年数だけ聞くと「長いなあ～」と感じるのですが、本当にあっという間に過ぎ去って行きました。しかし、ちょっと開所当時の写真などを見て思い出に浸ってみると(笑)、入居者の皆さんも、そして建物も若く、7年という月日が確かに流れている事を実感します。

この7年の間にイマジンのグループホームも増え、ついつい雨やどりを含めて4住居となりました。そして、新年度初めには建設中のグループホームが完成し、新たに2住居が加わります。（新グループホームの建物は1つですが、1階と2階で生活空間を分けるため、住居としては2つになります。）「たとえ障害があっても、自分らしく自立して生活できる場を…」との思いから始まり、少しずつですが利用される方が増えてきました。

グループホーム事業の準備段階から関わらせていただき、新しい方が生活を始めるたびに自分なりの生活を築いていく姿を見せていただく事は、私にとってとても大きな喜びです。しかし、時を重ねるにつれグループホームの役割や責任の重大さを実感し、押し潰されそうになることもしばしば…。グループホームは、ただ帰宅後や休みの日に過ごしているだけの場所ではありません。入居者の生活の中心的な役割にあり、生活の様々な場面で判断を求められます。「ご本人にとって何がいいのか」「そのためにはどんな支援が必要なのか」「私たちに何ができるのか」…。ご家族、日中活動先やヘルパー事業所などの関係機関、相談員等と話をしながら探っていきますが、ここでの判断次第でその方の生活・人生が変わってしまう事があると思うと、「責任重大だ!」と頭を抱えています。

グループホーム事業を始めた頃は、入居者の「家」を作る事が目標でした。自宅のように安心して暮らせる「家」、くつろげる「家」、みんなの生活を支える支援者がいる「家」。しかし、最近では少し考え方が変わってきました。やっぱり、私たちが作りたいのは「家」ではありません。入居者の皆さんから見たら「自分の家」であって欲しいのですが、私たちが作っていかねばならないのは、『みんなの家を支える組織』なんだと感じています。みんなが希望してくれる限りはこの場所、このグループホームで生活する事が出来るように、常に何をすべきか・何が出来るかを考えることができます。そして、必要な支援を提供する体制を維持できる組織。今だけ生活が出来ていけばいいのではなく、しっかりと将来を見据えた支援を提供できる組織作りが必要なんだと思っています。

最近職員一人ひとりの意識が高まり、時に意見をぶつけながら支援について考える機会が増えてきました。そして組織が大きくなる程、辛く厳しい判断をしなくてはならない場面も増えてきました。しかし、そんな場面を乗り越えていく事で組織力が高まり、より「自分らしく安心して暮らせる家」を支える組織を長く保つ事ができるのではないかと考えています。そうは言っても、まだまだまだまだ未熟な私たちです。もっともっと力強く、強固な組織を作っていくためにも、努力していきたいと思っています。まずは新グループホームを無事スタートできる事を目標に!!（担当 二宮）





## 繰り返しの大切さを感じて

「おはよう」と言って中に入っていくと先に到着している利用者さんが、洗濯物を畳んでいます。毎日見る朝の光景です。当たり前のようにやっている行為ですがいつも“ありがとう”と嬉しくなります。

送迎車が順番に到着し、みんなが揃って朝の会です。朝の会の当番は順番に回ります。「今日は、誰と作業するのかな?」「誰と散歩かな?」と予定の確認を楽しみにしている利用者さんもいます。出かける準備をしているとハンガーに掛かっている上着や、棚の上にある水筒を取って支度の手伝いをしてくれる人がいます。

毎日散歩をかねて駅南のゴミ拾いに行っています。「あったよ♪」と言ってトングでたばこの吸い殻を挟むと直ぐに塵取りの口を開ける人がいていいコンビネーションです。その様子を見て毎日積み重ねは大切ななあ～と感じています。

セブンイレブンでペットボトルを貰う時、店員さんに手を合わせて頭を下げているO男君「ペットボトルください」の挨拶ポーズです。店員さんもよく分かってくださり「ご苦労様どうぞ♪」と笑顔で答えてくれます。その光景がほほえましく思えます。

昼食の時は、テーブルを拭く人、おかずのお弁当を分ける人、ごはんを分ける人、お茶を入れる人、お箸を分ける人等…役割が決まっています。分けるのに困っていると「ここだよ」と教えてくれたりしている姿も見られます。食後、O子さんと言うと「そうだっけ」と言って洗った食器を拭いて食器棚に片づけてくれます。

風のこえでは、それぞれ役割を作っています。仲間同士でフォローしあい「やった」という達成感と笑顔がいっぱい見られるそんな活動ができたと思っています。そして家庭に帰ってお手伝いをする機会があったらいいなあと思うこの頃です。(担当 鷲坂)



## 環境づくりが大切です♪

雲のこたばの利用者さんたちは心配されたインフルエンザの感染者もなく、皆さん元気に登所されています。

雲のこたばの大きな変化として、昨年末に新たな活動拠点「星のおと」が開所しました。こちらは作業に特化したスペースとなっており、利用者さんたちにとっては職場的な位置づけです。一方、雲のこたばは今までどおり作業も行いますが、もっと利用者さんたちがゆったりとくつろげる休憩の場となります。星のおとが開所して、双方スペースにゆとりができ、より静かで落ち着いた環境を作ることができました。皆さんは作業に集中し、かつゆっくりくつろいでいる姿が見られ、嬉しく思います。

星のおとを開所するにあたって、今までの活動の流れを見直すこととなりました。日中活動の内容を考える上で「個人」の特性を考慮することは重要だと思います。しかし、日中活動は集団での活動でもあり、そのために必要な「社会性」「協調性」も身につけていって欲しいという思いもあります。そんな様々な思いを持ちつつも、何より利用者さん同士と一緒に活動して楽しいと思える環境と活動内容を作っていくことが大切だと考えました。

現在はそれぞれ頻度は違えど、雲のこたばと星のおとを行き来しながら皆さん良い表情で活動に取り組んでおり、良い流れができつつあることを実感させてくれます。

星のおとは島田市の本通り沿いにあります。表には折り紙や陶芸作品が飾られ華やかな雰囲気です。近くに来た際はぜひお立ち寄りください。利用者さんたちの笑顔が迎えてくれますよ。(担当 渡邊)



## タイムケアサービス

イマジンには設立以来「タイムケア」というサービスがあります。正会員の皆様とご家族である障害当事者向けのサービスです。国や県・市町の公的なサービスでは賅いきれない事柄に対応するために“隙間を埋めるサービス”として、30分500円という低価格で支援をさせていただいてきました。

しかし、この便利すぎるサービス故に「サービス内容」「契約書」「利用目的」などが曖昧になっていたのも事実です。先日行われた実地指導の際に、県より質問と助言をいただき、タイムケアサービスの見直しをすることになりました。サービス内容やオーダーの仕方など早急に検討して、皆様にお知らせしたいと思います。

サービス提供を禁止されている訳ではありませんが、オーダー内容等を慎重に吟味させていただきますのでオーダー時には状況や内容を詳しくお話しいただきたいと思います。よろしくお願ひします。

最近、市役所の職員、相談支援員等から「タイムケアでやってもらう」等の発言が多く聞かれます。イマジンの活動やサービスが知られてきている影響でもありますが、「いつでも」「何でも」サービス提供できるわけではありません。他のサービス同様に、まずは相談していただきたいと思います。

「5,000円払って正会員になれば使えるんでしょ」という発言も良く耳にします。正会員はイマジンの活動趣旨に賛同してイマジンを協賛するためになっていただくものです。ご理解をお願いします。(担当 澤島)





## 温かさに包まれて♪

この度、冬休みに「この指とまれ」が初倉に移転しました！！

今までのスペースよりだいぶ広いお部屋があります。しかも、1部屋だけではなく2部屋もあるんです！更に、事務所まで！全部で3部屋！準備をしている間、「〇〇ちゃんは絶対あの場所好きだよね」「あそこは、こんな風にしたら、子どもたちがくつろげるんじゃない？」とスタッフ同士、ワクワクしていました。移転して広いお部屋で嬉しいのと反面、変化が苦手な子どもたちにとったら「大丈夫かなあ」と心配するところもありました。

Mちゃんは、今までの場所より広いことに初めは戸惑い、2つの部屋の隅っこを行ったり来たりして自分の居場所を探しているようでした。今までスタッフの膝の中に入ってくることもなかなかなかったのに、移転して2日位はスタッフの膝に入ってくるのがたくさんありました。それでも、私たちが想像していたよりも早くに新しいこの指に慣れた様で、“ホットカーペットの上”という自分の新しい居場所を見つけた様で、今では来所するとすぐにその場所へ移動し、ニコニコしたり、機嫌が良い時は立って踊ったりもしています！

寒いからなのか、何なのか、せっかく広いお部屋なのに、みんなホットカーペットの上に集まるんです！違う場所で遊ぶようにしても、気づくとみんなホットカーペットの上に！とっても微笑ましい光景です。2部屋あるので、分かれて遊ぶこともできるのですが、やはり気づくとどちらかの部屋に集まっていることが多いです。1人が好きな子も、みんなの声が聞こえる方が安心するのか、自分からみんなの居る部屋に行くこともあります。

スタッフもやっと今の「この指」の流れに慣れてきたころです。早いもので、「この指とまれ」がスタートして、もう丸2年が経ちました。本当にあっという間でした。私たちスタッフが子どもたちと楽しく過ごしてこれたのも、支えてくれた保護者様や周りの方々のお陰です。4月からは吉田の支援学校が始まります。藤枝と吉田2か所にお迎えに行くこと、それぞれ下校時間が違うことなど、変化がいっぱいです。私たちスタッフ以上に、子どもたちの方がその変化に不安がいっぱいだと思います。そんな子どもたちの不安が少しでも軽くなるように、温かく包み込んでいけるよう支援していきたいと思っています。（担当 油井）



## 小林壮介君作品展♪

6/14（土）と15（日）に島田市の地域交流センター歩歩路にて小林壮介君陶芸作品展を開催しました。

早いものでもう6回目となりますが、以前の作品展で来場者さんから『もっと大きな作品を見てみたい♪』とのお声をいただいた事を思い出し、今回のテーマは『こんどはでっかいぞう』に決めました。

試行錯誤を繰り返し、今までの何倍もの量のねんどを使ってできあがった作品は、迫力や存在感があります。大きな作品を作れるようになってから、菅原陶芸教室の先生のアイデアで十二支の作成にもチャレンジし、壮介君の“指”でひねり出す作り方、写真や映像を見て作る可能性と不向きな点も発見できましたが見事に作りあげてくれました。

大きい作品とは対照的に、箸置きにも使えるような小さな動物の作品も沢山作り、バラエティーにとんだ作品展になったと思います。作品展はおかげさまで盛況いただき、静岡新聞さんが取材して下さい、その記事を見て遠くから来場して下さいました方もいらっしゃいました。



壮介君の作品や実演を見て、やさしい微笑みをうかべる来場者に囲まれ会場は温かい雰囲気になりました。

なお、島田市本通七丁目にあります生活介護事業所“星のおと”のショーウィンドーに壮介君の作品や菅原先生作のランプシェードとのコラボ作品、有志さんによる折り紙作品が飾られていますので、是非見にいらして下さいね。夜は、暗くなってしまった本通を壮介君と菅原先生の“温かな灯り”が灯されていますよ♪（担当 平口）

## ◆◆ ご寄付のご協力をお願いします。 ◆◆

イマジンでは、障害を持つ方も、そのご家族も、この地域に安心して暮らしていくために地域生活を支援していきます。グループホームを始めとして建設費用や運営費用が多く必要となります。是非、イマジンの活動趣旨にご理解を頂き、皆様のご寄付のご協力をお願いします。

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771 ※お振り込みの際、氏名のご記入をお願いいたします。  
 特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通



## 平成27年度 正会員の募集をしています！

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。NPO法人にとって正会員は必要不可欠な存在です。本当にありがとうございます。

平成27年度の正会員の募集を開始しています。本年度同様に来年度もイマジンの活動趣旨に賛同・ご協力をしてくださる正会員の募集です。

年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても、下記口座まで振り込まれても結構です。また、イマジンのサービスを利用されている方は引き落としも可能ですのでお申し付けください。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

【年会費】正会員 5,000円 ・賛助会員(個人) 1,000円 ・賛助会員(団体) 20,000円

【振込先】 静岡銀行 島田支店 普通 0606771  
 特定非営利活動法人イマジン 理事長 澤島直通



## ニコニコで暮らす♪

こんにちは。まだまだ寒い日が続きますね。いよいよ雨やどりの入居者さんは寒さにも負けず、風邪もひかずに元気よく生活をしています。寒くても入居者さんは元気よく散歩に出かけ「あそこの自販機だとジュースが10円安く買える！」とか「カモを見てきたよ。」「新幹線を見てきたよ。」といろいろな報告をしてくれます。

いよいよ雨やどりで暮らすということは雨やどりのある湯田地区で暮らすということです。例えば、床屋さん。入居者さんは昔からの行きつけの床屋さんがある方以外はグループホームから歩いていける『月坂堂』という床屋さんへ歩いて散髪に行きます。Y君は散髪する前に「どんな髪型にしようかなあ」と世話人と相談をしてからヘルパーを利用して散髪に行きます。自分で髪型をオーダーして切り終わるまでニコニコとしながら散髪してもらいます。「はい、終わったよー」と気さくな店主が鏡を持って髪型のチェックをするとY君は出来に満足して嬉しそうな表情を浮かべました。帰宅してから世話人に髪型を自慢してくるY君はいつも以上にニコニコしながら話してくれます。

こんな家庭なら当たり前の会話がグループホームにもあります。床屋さんをはじめ、グループホームで生活するという事は、地域の方々の理解と支えがあってこそ、この地域の中で暮らし生活していると実感することができます。実家を離れ新しい生活の場として“いよいよ雨やどり”を選んだ入居者さんの方たち。いよいよ雨やどりを中心に住みな慣れた地域、住みやすい地域になってきたなあ～と最近感じるようになりました。(担当 稲葉)



## 前を向いて♪

今年がスタートして、あっという間に1月、2月が過ぎ行こうとする今日この頃です。入居者の皆さんはそれぞれに目標や計画を立て、頑張っています。

そろそろ雨やどりの入居者Aさんは、毎日仕事をがんばっています。残業の日も多く、自分のやりたい事にもなかなか踏み出せない事もあるようです。今、ソファやカーペットを購入してお部屋の模様替えを計画しています。頑張る自分へのご褒美も大切ですね。『女子力アップ!』を目指して料理教室へも行きたいと張り切っています。Bさんは健康・体力の増進のために食事療法とウォーキングを続けてきました。本格的に取り組んでちょうど1年が経過しましたが減量に成功し、足腰も丈夫になり御本人の努力が実り良い結果が出ています。健康が基盤となり毎日の生活が充実し、余暇活動の幅が広がり楽しみも増えてきたようです。

ぼちぼち雨やどりの皆さんの中にはテーマを持って外出を計画している方がいます。Cさんは「県内城巡り」、Dさんは「人気ラーメン店制覇」、Eさんは「ピザ食べ歩き」とそれぞれに楽しみをもって計画を立てています。春になって暖かくなってきたら皆に声をかけてサッカーをやろうという話も聞こえてきます。「いっぱい友達や仲間を増やしたい」という希望をもっているようです。世話人も皆さんの大きな活力や時の流れに取り残されないように頑張っていきたいです。(泣・笑…ファイト!) (担当 岡本)



入居者企画のクリスマス会♪

### 【連絡先】 特定非営利活動法人 イマジン

#### 障害者支援センターイマジン

〒427-0022 静岡県島田市本通二丁目4-20  
 TEL 0547-34-3370 FAX 0547-34-3371  
 e-mail imagine@za.tnc.ne.jp  
 http://www3.tokai.or.jp/imagine/

#### 初倉事務所 (つつい雨やどり隣)

〒427-0113 静岡県島田市湯田1-1  
 TEL / FAX 0547-30-4117  
 e-mail npo-imagine@cy.tnc.ne.jp

